

## ＜用語解説＞

### 1) ソーシャルキャピタル（社会関係資本）

地域住民同士の信頼や助け合い、交流など地域社会の人間関係の豊かさを意味する。市民同士のコミュニケーションや支えあい、市民と行政の協働が活発である程、豊かな社会が形成され、健康度の向上に影響すると言われている。

### 2) NCD（非感染性疾患）

病気の原因が不健康な食事や運動不足、喫煙、過度の飲酒などと共通しており、生活習慣の改善により予防が可能な病気。がん、循環器疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患などが主なNCDである。

### 3) フォーカスグループインタビュー

特定的话题に焦点をあてたインタビューで、6～10人のグループトークの内容を聴取、観察し、情報収集を行うもの。

### 4) HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

過去1～2ヶ月の血糖値の状態がわかる検査項目。糖尿病の診断や治療状況の評価のために用いられる。これまでHbA1cの標記は、JDSでされていたが、平成24年4月からNGSP（国際標準値）で標記されることになる。JDS値に約0.4を加えた値がNGSP値になる。

### 5) 地域連携クリティカルパス

急性期病院から回復期病院を経て在宅療養にいたるまでの診療計画を作成し、治療をする全ての医療機関で治療内容や検査結果を共有して用いるもの。患者にとって切れ目のない円滑な医療体制の提供が受けられるというメリットがある。

### 6) 閉塞性動脈硬化症

足の血管の動脈硬化が進み、血管が細くなったりつまったりして、十分な血流が保てなくなる病気。症状としては、歩行時に足のしびれ、痛み、冷たさ、進行すると安静時にも症状が現れることがある。

### 7) クレアチニン

血液中に存在する老廃物の一種で、本来は尿中に排泄されるものであるが、腎機能が低下していると尿中に排泄されずに血中に蓄積される。よって、血中あるいは尿中のクレアチニンを調べることにより、腎機能が正常かどうかを検査できる。

## 8) うつ病

わけもなく気分が沈む、やる気が起こらない、考えがまとまらないなど、強い不安感、抑うつ感、絶望感、罪悪感等を伴うこころの病気。

## 9) 心身症

ストレスから体が病気になったり、既往症状の悪化を生じたりする状態。代表的なものとして自律神経失調症、過敏性腸症候群、狭心症、摂食障害、胃潰瘍などの疾患となって現れる。

## 10) 不安障害

パニック障害や心的外傷後ストレス障害（PTSD）など、常に耐えがたいほどの不安にさいなまれ、動悸やめまい等の自律神経症状や手の震え、胃腸の不快感などの症状で日常生活に支障をきたすようになった状態。

## 11) ワークライフバランス

「仕事と生活の調和」と訳される。個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加等、個人や多様なライフスタイルの家族がライフステージに応じた希望を実現できるようにすること。

## 12) リプロダクティブヘルスライツ

「性と生殖に関する健康と権利」と訳される。リプロダクティブ・ヘルスは、女性が生涯にわたって身体的、精神的、社会的に良好な状態であることであり、このリプロダクティブ・ヘルスを享受する権利がリプロダクティブ・ライツである。

## 13) BMI（ビーエムアイ）

WHO で定めた肥満判定の国際基準。BMI は体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m) で求められ、18.5 未満がやせ、18.5 以上 25 未満がふつう、25 以上が肥満と判定される。22 前後が最も生活習慣病になりにくく、死亡率も低いと言われている。

## 14) コミュニティソーシャルワーカー（CSW）

援護を必要とする高齢者や障害者、子育て中の親などに対して、見守りや相談、専門機関などへのつなぎを行うとともに、関係機関等とともに地域福祉の推進を行う。

15) 認知症サポーター

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者で、養成講座をうければ誰でもサポーターになれる。地域住民、金融機関やスーパーマーケットの従業員、小・中・高等学校の生徒など様々な方がサポーターとして養成されている。

16) 基本チェックリスト

65歳以上の介護認定を受けていない人を対象に、介護の原因となりやすい生活機能の低下の危険性がないかどうかという視点で、運動、口腔、栄養、物忘れ、うつ症状、閉じこもり等の全25項目について「はい」「いいえ」で記入する質問表。

17) 東大阪市版 AUDIT

AUDIT (The Alcohol Use Disorders Identification Test) は WHO が問題飲酒予備群を減少させる目的で開発したテスト。10項目の質問に答えることでアルコールの危険な使用・有害な使用・アルコール依存症のスクリーニングができる。東大阪市版 AUDIT は、東大阪市アルコール関連問題会議において検討しアレンジしたもの。

18) ひあかもか通信

東大阪市アルコール関連問題会議が発行している啓発チラシ。断酒会員の体験談・専門医の解説などの内容で、東大阪市の有床病院を中心に配布している。